

自然と歴史

出雲大社の北にある山々に面した鷺浦には、伊奈西波岐神社があります。伊奈西波岐神社は出雲大社の摂社で、(伊勢神宮と)同じ古来からの建築様式で建てられています。出雲大社は定期的に再建され、立て替えられた際の材木を使用して、この神社は建てられました。この神社には稲背脛命という神様が祀られています。日本最古の歴史書によると、稲背脛命は、天照大神の使者が日本の統治を天照大神の子孫に譲るように大国主神へ交渉した際、大国主神の息子である事代主神の意見を確認するため、美保神社へ奔走した神様です。その結果、大国主神と事代主神は国を譲ることに同意し、戦争が避けられました。

観光客は、鷺浦の大きなトンネル付近の墓地へ向かう道を登り、赤い石州瓦で統一された家屋の町並みを眺めることができます。この瓦は、島根中部の建築の特徴であり、かつての貿易が日本海に沿って反映した江戸時代を思い起こさせます。集落には、昔、鷺浦の港に貿易船が停泊した際、船員や商人が滞在した宿が残っています。海岸には島々や洞窟が連なる景観があります。特に、天候がよく、船が三日月湾洞（みかづきわんど）の洞窟に入ることができる日にはボートに乗って沿岸の風景を楽しむのをオススメします。洞窟の天を望む三日月の形をした穴から差し込む光が海水をエメラルドグリーンに照す様子は、忘れられない光景を作り出します。

アクティビティ

鷺浦の通りを散策して、昔の面影を体験し、歴史的な船宿でお茶をすることができます。集落から海岸線に続く片道 2 時間のハイキングルートもあり、洞窟の探検もできます。ボートで点在する島々の間や洞窟を巡るのもおすすめです。鷺浦には、地域で有数の釣り場もあります。